

株式会社出羽紙器製作所

新型平拔機導入により、顧客志向の高機能段ボールを生産加速！

金型交換時間も大幅短縮

昨年4月発売した新型コロナウイルスの飛まつ対策用段ボール製パーテーション「だんぱーて」が35万個を売り上げる大ヒット商品となった。段ボールの枠組みに透明シートが貼ってあり、足場のパー

ツを取り付ければ自立する。組み立て簡単、最もシンプルな1面タイプで税込み550円という安さもあり、最盛期は北海道から沖縄まで引く手あまた。「1個でも多く送るぞ」（小林正臣社長）という気合で、

り補助金を活用して19年12月に導入した新型平拔機だ。段ボールはデスクや本箱、ディスプレイ用の陳列棚など用途もさまざまに広がっている。それらの仕器のパーツを型抜きするのに活躍する新型平拔機は旧型機の約2倍の大きさの段ボールにも対応（最大2メートル×1・4メートル）。一度に複数の金型を取り付ける「多面付け」もできる。

作業を効率化する上で重要なのは、金型を交換して装置の設定を変更する「セット替え」の時間を大幅に短縮できたことだ。旧型機で45分ほどかかっていた作業が、現在は約3分で済んでいる。

顧客の細かなニーズに対応した多品種小ロット化が求められる中で、いかに装置の稼働時間を確保するかは重要な

政府の緊急事態宣言が出された昨年4月に発売という迅速さも評価され、2020年度の板橋製品技術大賞（板橋区産業振興公社主催）のテーマ賞を受賞した。

「だんぱーて」の開発に一役買ったのが、ものづく

ポイント。「セット替えの時間を短縮できたことは非常に大きかった」と小林社長。

底部分を簡単に閉じることができ、テープも不要な「底ワラタッチ箱」でも新型機が活躍。小林社長は「いろいろな付加価値を付ける営業を進める中で、さらに新型機を活用していきたい」と話す。

多品種小ロット生産に対応する新型平拔機

COMPANY OVERVIEW

■ 株式会社出羽紙器製作所

実施場所：所沢市下富400 新所沢工場

本社：東京都板橋区上板橋 2-38-11 タカマンビル 3階

代表者：代表取締役 小林正臣

設立：1964年 7月 資本金：5000万円 従業員数：99人

電話：04(2943)3311 [新所沢工場]

モ▶ 小林社長のおじの秋葉功氏が1959年4月、東京都豊島区で創業。16年11月に本社を板橋区に移転。ふじみ野市に埼玉工場、山形県天童市に山形工場がある。